

主に見守られて

8月20日（日）礼拝の後「性同一性障害」の学習会をしました。

まだ発症の原因が解明されていない「性同一性障害」、当事者一人ひとりが抱える問題や生き辛さを感じるが事象が画一化されておらず、目に見えにくいこともあり、より理解されにくくなっていますが当事者が非当事者と共に社会生活を送っていることも確かなことです。

しかし、ある乳酸菌飲料メーカーでは「カミングアウト」を強要されたり、またある企業ではMtF（男性から女性に）の当事者に男性に戻って仕事ができないか？などと無理を強いられる事柄が多く「性同一性障害」という言葉だけが独り歩きしていて、その実態を知っている人は多くありません。僕は自身がその当事者でもありますから、神さまの御心に従いお互いの違いを認め合い尊重しあえれば幸せなことと感じています。そしてこれからも主のご計画により今回のような学習会を継続していかれるように研鑽を積んで行きたいと考えています。

（川越キリスト教会会員・石塚将暉）

